

令和3年度 第3回浦河町社会教育委員会議 議事録

■日 時 令和4年3月24日（木）午後6時30分～午後7時30分

■場 所 浦河町総合文化会館 3階 ふれあいホール

■出席者 【社会教育委員】

○出席委員 14名

坂本浩哉委員、加渡三之委員、鈴木眞一委員、向井早霧委員、津澤静子委員、松本正美委員、坂本廣子委員、三浦敦子委員、熊野重雄委員、清原 繁委員、野上由佳委員、小林光紀委員、奥村桂祥委員、向谷地悦子委員

○欠席委員 6名

背山誓正委員、菅 正輝委員、岡本昂昌委員、奈良淳弘委員、伊丸岡順委員、米山 豊委員、

【教育委員会】

浅野教育長、住吉課長、天野課長補佐、可知課長補佐、石黒主幹、那須野主査、西野主査、武田主事、山本主事

■会議次第

1. あいさつ 浅野教育長

2. 報告事項 (1) 令和3年度事業経過について…資料1

資料に基づき事務局より説明

(2) 令和4年度主な事業について…資料2

資料に基づき事務局より説明

(3) その他

・ファミリースポーツセンター改修…資料3

資料に基づき事務局より説明

3. 質疑応答

【A委員】 資料1の生涯学習まちづくり出前講座は、荻中と堺町小が今年度は対象で実施だったのか。

【事務局】 まちづくり出前講座については、実施団体から要望があった時に開催している。このような内容で開催したいと社会教育課に相談いただければ、町職員が出向いて町の仕事内容や産業等について話をする機会であり、要望があれば日程調整等して職員を派遣するというかたちになる。

【B委員】 ファミリースポーツセンターの完成年度の令和7年に防

災教室などの形で、ファミリースポーツセンターをなかなか利用のできない荻伏の小中学校から最初に使わせていただけないか。

【教育長】 そのようにしたい。

【C委員】 ランニングコースの件について、資料3の5頁「ランニングコースの床材をゴムチップ仕様にしてほしい。(スパイク対応)」とあるが、スパイクは陸上用スパイクのイメージでよいか。

【事務局】 陸上用スパイクを想定している。

【C委員】 そうすると、このランニングコースだと陸上のスパイクというのは短距離をイメージしていると思うが、同じコースをウォーキングしている人と陸上の速いピッチで走っている人と一緒にするという考えでよいか。危険ではないか。

【事務局】 実際に管理していくにあたって、利用の時間を区切るなどして、危険のないようにしていきたいと考えている。

【C委員】 要望になるが、例えば札幌のつどーむで、ランニングしている大学生がものすごく速く、一般の方がウォーキングしているとぶつかる危険性があるということで、その辺りを配慮してスパイク可にしないと危険だと思うので対応をお願いしたい。

【事務局】 危険のないよう対応をしていきたい。

【D委員】 屋内にキッズスペースはあるが、屋外にはキッズスペースのような遊ぶ場所はないのか。

【事務局】 屋外のキッズスペースについてはパブリックコメントにもあり検討事項としている。遊具の設置など子どもが遊べる場所を検討していきたい。

【E委員】 資料3の8頁ファミリースポーツセンターの運営について、どのような時に有料になるのか。

【事務局】 使用料が有料になるかはこれから検討していく。協議会や利用者の声を聞きながら使用料については決めていく。現段階では有料か無料かについては決まっていない。

【E委員】 ファミリースポーツセンターは子どもたちが遊べる場所にもなっているので、今のように気軽に行ける体制が維持されるのか心配になったので。

【事務局】 詳しくはこれからの検討になってくるが、今言われた部分は維持できるように進めていきたいと考えている。

【F委員】 資料3の9頁の改修工事スケジュール案について、工事期間中の災害時の避難等はどのようになっているのか、令和4年度のうちに防災計画を住民に伝えてほしい。

【事務局】 2年間と長い期間になるので防災担当と話しをしながら

どのように避難をするか等を決めていきたい。

【A委員】 子どもの遊ぶスペースについて、屋外の子どもの遊ぶスペースと設置する遊具は幼児向けのものになりがちなので、検討して欲しい。

【事務局】 スペースの問題と費用の問題とを考慮して検討したい。

閉 会